



ひまわりライス通信

H28.11月
No.92

皆さんこんにちは、伊藤です。秋空高く気持ちのいい秋は一気に過ぎ去り、駆け足で冬がやってきました。11月8日から9日早朝までに降り積もった雪は融けることなく根雪になってしまいました。この11月上旬の寒さは1世紀ぶりらしいですよ。マジ!!Σ(ω||) それじゃ今月も寒さに負けずいってみよ〜。よろしくっ!(*´ω´)ゞシャキーン

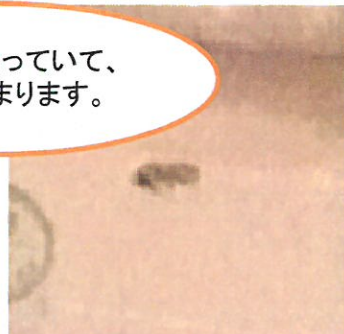


バラ施設で作られた紙袋が並べられています。それではこれら検査開始(*^-)v♪



Uの字になっていて、そこに溜まります。

農産物検査法で定められた抽出方法で、『穀刺し』という器具を使ってお米を抽出。



刺した後の紙袋には、ポツカリと穴が！このままじゃ、お米がこぼれてしまいます。



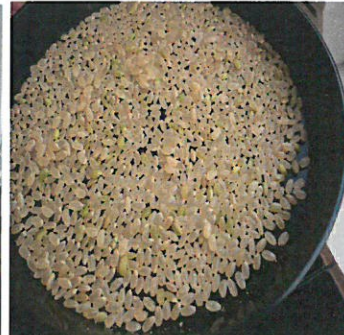
そんな穴には、『丸検シール』をペタッと貼って補修していきます。



検査員が抽出したお米をチェックして格付けしていきます。(´ω´)b`:+.



バラ施設の調整がうまくできているか、カルトンに入れて被害粒などを確認。



なかなかの、出来具合♪これなら1等の等級が付けられそうです。V(´ω´)



水分を測り、紙袋の重量も測って合格ができました。ヽ(*´ω´)ノ



検査員の合格がでたら、皆で1等と検査員の名前と検査日が入った印を押印していきます。1袋づつに押印していくので、かなりのスクワット運動になります。(´-_-)疲レル〜



倉庫内には、色々な品種・栽培・回数があるので、誰が見ても解るように名札を付けて、はい票箋を付けて日々在庫管理をしていますよ。(*^-)v フイ♪



フレコンの場合は、結び紐に、封印シールを巻いて口を閉じていく作業をしていきます。寒空の中、一生懸命封印してくれてご苦労様です。(〃ω〃人)



押印作業や封印作業がないときには、翌日のスケジュールに沿って紙袋を作っていきます。多い時には、2千袋も作ることもΣ(´艸`O)エ!!

以上で、稲刈りからお米が製品になるまでの一連の流れを紹介してきました。意外と知らないことが多いことに気付かれますよね〜。(ω-;) 今シーズンは今月で終了しますが、来シーズンもまた色々なことを紹介していきたいと思っておりますのでこれからも「ひまわり通信」を、よろしくお祈りいたします。V(´ω´)イエイ♪
ちょっと早いけど、皆さんお身体にお気を付けて新しい年をお迎えくださいね♪ヽ(´ω´*)

J Aきたそらち北竜支所 営農課

直通 0164-34-2247

FAX 0164-34-2216

生産情報公表 JASのHPアドレスは

<http://www.hokuryu-mai.com/>